

10月定例記者会見の概要

- 1 日時 令和6年10月8日（火）9時30分～10時00分
- 2 場所 本庁舎2階 正庁
- 3 出席者 <報道機関>
 - ① 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ会員）
 - ② 読売新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ会員）
 - ③ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ会員）
 - ④ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ会員）

計 4 社

< 市側 >

- ・市長・総務部長
(テレビ会議)
- ・新田副市長・教育長
- ・小高区役所長・鹿島区役所長・復興企画部長・市民生活部長
- ・健康福祉部長・こども未来部長・商工観光部長
- ・商工観光部企業立地担当理事・農林水産部長
- ・農林水産部政策担当理事・建設部長
- ・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 17 人

- (司会進行) 秘書課長
- (会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、能登半島豪雨災害についてです。

9月21日から23日にかけて能登半島地震の被災地を襲った能登半島豪雨災害では、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

本市では、迅速に支援を行うため、9月24日に募金箱を設置し、職員からの募金もまとめたところです。

10月4日時点で集計した募金額は、市民からお寄せいただいた募金が35万9,870円、職員からの募金が48万5,500円となっています。こちらについては、急ぎ被災地に届けられるように調整してまいります。募金いただいた市民の皆さまへこの場をお借りして感謝を申し上げます。

引き続き、募金を受け付けておりますので、市民の皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

次に、こども未来ミーティングU18についてです。

市では9月23日、市内の中学生と高校生の皆さんからの声を直接聞くための取り組みとして「こども未来ミーティングU18」を開催いたしました。

2回目となる今年は初の試みとして、原町区の高見公園エリアでのフィールドワークを行い、中学生15人、高校生13人から率直な意見や考えを直接聞かせていただきました。

こどもたちからの意見については、市で取り組めるか考えていきたいと思えます。

次に、オープンホスピタルについてです。

市立総合病院で9月28日に、地域の子供たちに医療職について理解を深めてもらうとともに、市立総合病院をより身近に感じてもらうことを目的としたイベント「オープンホスピタル」を初開催いたしました。

実際の医療器具を使った医療体験コーナーや眼科医師による市民講座、DMA T・人命救助体験などを行いました。

子どもからお年寄りまで約300人にご来場いただき、地域の皆様に、市立総合病院に関心を持っていただく機会になったと考えております。

次に、市議会定例会についてです。

9月30日に第4回南相馬市議会定例会が閉会しました。

この議会では、新庁舎建設事業や、小高区大富地区の営農再開に向けた農業基盤整備促進事業に係る補正予算など、議案31件について、全て原案どおり可決されました。

次に、北泉サーフフェスティバルについてです。

10月3日から6日まで、北泉海岸で「北泉サーフフェスティバル」が開催されました。実行委員会の主催、市と株式会社マテリアルの共催で、国内のトッププロサーファーら約140人が、技の種類や難易度などを競いました。

次に、「ロボテスフェスタ2024」についてです。

10月4日と5日の2日間、福島ロボットテストフィールドにおいて、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構と市の共催で「ロボテスフェスタ2024」を開催しました。

初日はビジネス向け展示会と商談、2日目は一般・家族向けの体験イベントを開催し、併せて約800人の方にご来場いただきました。

このイベントは、福島国際研究教育機構（F-REI）の主催、経済産業省の共催による「World Robot Summit 過酷環境 F-REI チャレンジ プレ大会」に合わせて行われました。競技には、南相馬ロボット産業協議会と会津大学の合同チーム「MISORA+UoA」が「プラント災害チャレンジ」部門に出場し、2位になったと伺っています。

続いて今後の主な話題について触れたいと思えます。

はじめに、秋のイベントについてです。

気温も涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。幼稚園の運動会、小学校の学習発表会、中学校の文化祭など文化・芸術の秋を迎えました。市内においては、9月中旬の敬老会を皮切りに、多くのイベントなどが予定されています。

10月20日には、相馬野馬追振興秋季競馬大会が開催されるほか、各区のイベントとして、11日から14日アーティストインレジデンスみなみそうま 群青小高 成果発表展、12日おだか秋まつり、13日かしま産業祭、14日南相馬フェス、19日南相馬市健康福祉まつり、11月3日あきいち及び交流自治体フェアが予定されています。

また、地域イベントとして、各生涯学習センターで開催する文化祭に加え、10月13日桜井町二丁目住民交流会、26日おだか群青コンサートなどが予定されています。ぜひご友人、ご家族と会場へ足を運んでいただきたいと思います。

次に、原町高校同窓会東京支部総会についてです。

10月14日に、東京都で原町高校同窓会東京支部総会が開催されます。私も出席して、本市の復興状況や取り組みなどを説明する予定です。

今後も機を捉えて、本市とゆかりのある方たちとのつながりの強化を図ってまいります。

次に、ペンドルトン市への派遣報告会についてです。

10月19日に、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ペンドルトン市へ派遣した市内の高校生6人による報告会を開催します。

また、今後、労働力不足の解消などで、外国人人材の重要性がさらに増していくものと考えられるため、様々な文化を持つ人と対等な関係を築く多文化共生セミナーも同時開催する予定です。

次に、市表彰式についてです。

11月3日に、令和6年度の南相馬市表彰式を開催します。自治、教育文化、産業経済、保健福祉、消防防災など各分野で功労のあった個人・団体が対象で、令和5年度の33名・3団体から増え、40名が受賞となります。

次に、市総合防災訓練についてです。

「津波防災の日」である11月5日に、市内各地で市総合防災訓練を開催します。今回は、岩手県沖でマグニチュード7、震度5強の地震が発生した後、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された状況を想定して実施します。

防災行政無線などを使った情報伝達訓練や避難所の運営訓練、ペット同行避難を含めた避難訓練などに加え、今回初めての試みとして、福祉避難所の開設訓練を行います。福祉避難所の開設には「じゅにあサポートかのん」様のご協力をいただく予定です。

地震や津波への備えはもちろんですが、10月も、台風が近づきやすい時期となっています。

訓練に参加されない市民の皆様もこの機会に、ご家族と一緒に危険個所を確認するなどして、日ごろから備えていただきたいと思います。

【質疑応答】

質問 1:

令和元年東日本台風の発生から、10月13日で5年が経過します。当時の災害を振り返っての教訓と、市の防災への意識がこの5年間でどう変わったか教えてください。

回答 1: 市長

明確な形として大きく変わったのは、職員が犠牲になり、災害対応に当たる職員の安全確認を強化したことです。東日本大震災の時も、消防団員や市の職員、行政区で住民のお世話をしてくださっている方などが犠牲になりました。「市民の安全確保」という大切な任務を果たすためには、災害時に危険な場所に向かう可能性がある人の安全が不可欠ですので、その基準等を作りました。

また震災から少しずつ復興してきた矢先に、令和元年東日本台風による経験したことのない大雨災害や、令和3・4年には立て続けに震災を超える地震が発生したこともあり、現在県の協力を得ながら河川などの対策を進めています。その他にも、備蓄品の見直しと充実を図る必要があると理解しています。

以上